



NAGOMI

No.77

2023.6

医療法人 天和会 松田病院 広報誌



Contents

- 病院機能評価受審について..... 2～3
- 呼吸器内科開始のお知らせ..... 4
- 新職員紹介..... 4～5
- 保育室だより..... 5
- 検便検査ってどんな検査?..... 6
- 栄養士の健康レシピ..... 7

一致団結

～よりよい病院にするために～



病院一丸となって取り組んだ 病院機能評価受審 さらなる病院の飛躍の為に



理事長 松田達雄

みなさんは、「病院機能評価」といった事業があるのをご存じでしょうか？

病院機能評価とは、病院組織全体の運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が、中立的・科学的・専門的な見地から評価を行う事業で、一定の水準を満たした病院は「病院機能評価、認定病院」となります。現在、全国の約25%の病院が認定病院となっています。

要は、第三者機関に「この病院はちゃんとした組織で、質の高い患者中心の医療を提供しているか？」といったことを評価してもらうということです。大学病院などの大きな病院は、施設基準などで必要とされていることもあり、ほとんどの病院が「認定病院」となっていますが、当院のような中小病院では認定されていない病院の方が多数を占めます。

1995年から始まった事業ですが、①高額な審査料金がかかる ②審査に受かっても特に何かの特典みたいなものがあるわけではない ③審査を受けるための準備に膨大な時間と労力がかかる、といったような理由から当院は一度も受審していませんでした。

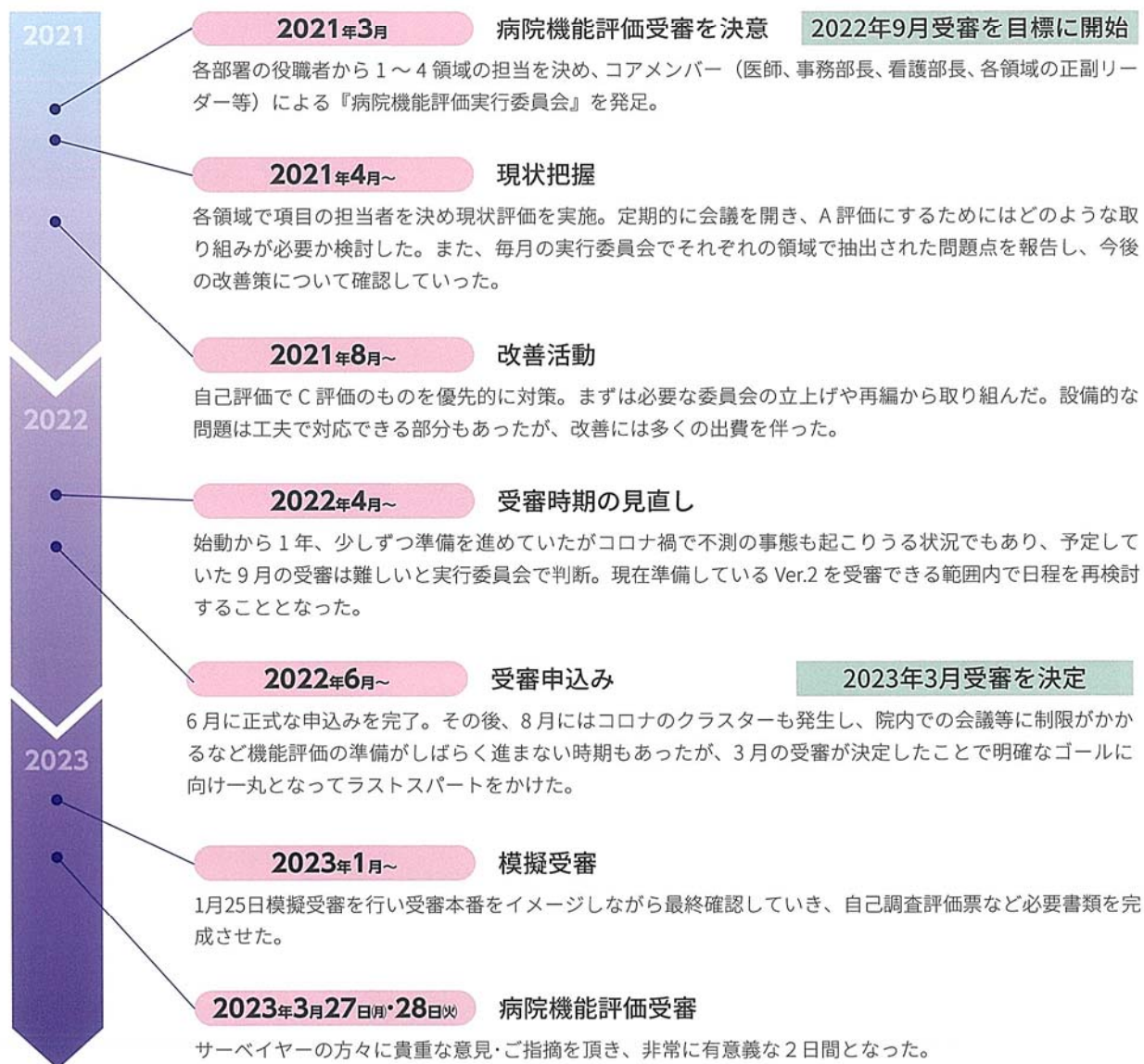
1955年に松田和雄初代院長が、松田病院を開院して以来、地域に根差した中小病院として、地域の皆様に支えられここまで病院運営をしてきました。病院70周年を前にして、松田忠和院長から、「いままで自分たちがやってきた病院運営や医療に改善点がないか、第三者の評価を受けてみよう」との号令で病院機能評価受審を決めたのが2021年の3月でした。そこから2年間コロナ禍の中、病院職員一丸となって準備を行い2023年3月27、28日の2日間かけて病院機能評価を受審しました。

日本医療機能評価機構から3名の評価者が直接来院し、病院中を実際に視察され、当院で行っている医療、看護、病院組織運営の評価をしていただきました。審査結果がでるまで数カ月かかるため、まだ結果はわかりませんが、評価に来ていただいた方たちから概ね好意的な評価結果を口頭で頂いたときは、大きな安堵と達成感を感じることができました。

この機能評価受審で一番の収穫だったのは、いろいろな職種の職員が「よりよい松田病院にするために」2年間議論を重ね、一致団結して準備をしてきた時間だと考えています。

今回の経験を糧に、地域の皆様によりよい医療、看護を届けられるように職員一同精一杯努力いたしますので、今後ともよろしく願いいたします。

受審までの経過



部署ラウンド



講評及び意見交換



検便検査(便潜血検査)ってどんな検査?

臨床検査技師 山室美穂

- ・ 検便検査(便潜血検査)とは、便に血が混ざっていないか調べる検査です。
- ・ 食道や胃、腸といった消化管で炎症や潰瘍、腫瘍(ポリープ・がん)などができた場合に、便に血が混じることがあります。
- ・ 便潜血検査は消化管の病気(大腸がんなど)を調べるのに有用です。

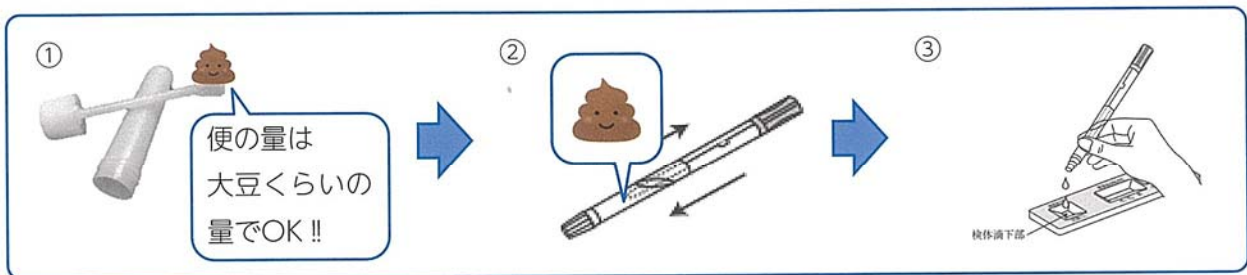


胃や腸から出血すると便に血が混じることがあるよ!!



検査方法

- ① 検便容器を持って帰って、自宅で便を採取し、病院に持って来ていただきます。
- ② ①で採取した便を、検査室で検査用容器の中へ入れて溶かし、溶かした液体を検査に使用します。
- ③ 検査キットに②の液体を滴下して結果が出るまで20分待ち、判定します。



検査結果の見方

血液成分である「ヘモグロビン (Hb)」と「トランスフェリン (Tf)」が溶かした液体(便)に含まれているかどうかを検査しています。「ヘモグロビン (Hb)」と「トランスフェリン (Tf)」の線の出方で上部消化管(胃・十二指腸)からの出血か、下部消化管(大腸)からの出血か大まかなことがわかります。

ヘモグロビン (Hb)	トランスフェリン (Tf)	結果の解釈
(-)	(-)	出血していない or 出血を取り切れていない
(+)	(-)	出血している(下部消化管:大腸)
(-)	(+)	出血している(上部消化管:胃・十二指腸)
(+)	(+)	出血している(上部・下部)

(例) ヘモグロビン (Hb) : (+)
トランスフェリン (Tf) : (+)
→ 上部・下部消化管のどこから出血している可能性が高い!!

もしも検便検査(便潜血検査)で陽性(+)の場合には、必ずしも疾患があるとは限りませんが(痔等の可能性もあり)、大腸がんは初期症状がないことも多いため早期発見・早期治療が大切です。必ず精密検査を受けましょう。



栄養士の健康レシピ



コールスローサラダ

[1人分]
熱量 78kcal 塩分 0.4g



材料 (1人分)

キャベツ	30 g
胡瓜	20 g
人参	5 g
セロリ	5 g
サラダ油	7 g
a 酢	5 g
塩	0.4 g

つくりかた

- ①キャベツは、硬いところを除きせん切りにする。
- ②胡瓜・人参・セロリもそれぞれ4cmの長さくらいのせん切りにする。
- ③aの調味料を混ぜ合わせてドレッシングを作る。食べる直前に①・②を和えて器に盛る。

キャベツについて

【主な効能】
抗潰瘍作用・健胃作用・便秘改善・疲労回復・がん予防

野菜の中では、もっとも広く分布しているといわれ、しかもさまざまな野菜のもとになっています。茎につく芽を丸くしたのが芽キャベツ、茎を丸くしたのがコールラビ、つぼみを食用に改良したのがブロッコリーやカリフラワーです。花材の葉ボタンもキャベツの仲間です。

市販の胃腸薬でも、キャベツの消化酵素・ビタミンUという成分をとり入れた薬があります。「とんかつにキャベツのせん切りの付け合せ」も同様にビタミンUが消化をよくします。理にかなった組み合わせです。ビタミンUの効用は、消化酵素によるもののほかに、抗潰瘍作用もあるので、胃潰瘍や十二指腸潰瘍にも有効とされています。

さらに、キャベツにはビタミンCが豊富に含まれています。生で1~2枚食べるだけで1日に必要なビタミンCの半分が摂取出来るほどです。さらに、疲労回復や抗菌作用の効果もあり、風邪予防・肌荒れに効果的です。止血作用や骨を強くするビタミンKも含まれています。

最近では、がん抑制物質のイソチオシアネートやインドール、発がん性物質の活性化を抑えるペルオキシダーゼなどががん予防に効果の高い機能成分が豊富に含まれていることがわかっています。

調理のポイント

ビタミンC・ビタミンUは水溶性ビタミンで熱に弱いです。これらの食品を活用するには、生食やジュースが最適です。成分の流出を防ぐため葉のまま水にさらしてから刻むようにしましょう。

キャベツの芯には、葉以上のビタミンCが含まれています。ロールキャベツなどの煮込みで溶け出した成分も一緒にとれるように、煮汁にとろみをつけて食べるのもよい方法です。

選び方と保存

全体……冬キャベツ：外葉が濃い緑色・巻きが固く重量感があるもの
春キャベツ：みずみずしい緑色・巻きがゆるく葉が柔らかいもの
葉の部分……半切りの場合はすぎ間があきすぎているもの。ラップをまいてある場合は、一度ラップを外し中の蒸気を逃がしてふたたび包んで野菜室へ入れる。

効果的な組み合わせ

キャベツ
↓
魚介類・肉類・大豆加工品
||
高たんぱく・低脂肪で美肌に

